

**Numark**




---

**MIXTRACK  
PLATINUM**

ユーザーガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

### 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://numark.jp/>

# Numark <お問い合わせ>

**inMusic Japan株式会社**

**カスタマ・サポート部**

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザーガイド

### はじめに

### 同梱品

- ・ Mixtrack Platinum 本体
- ・ USB ケーブル
- ・ Software Download Card (英文)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

### サポート

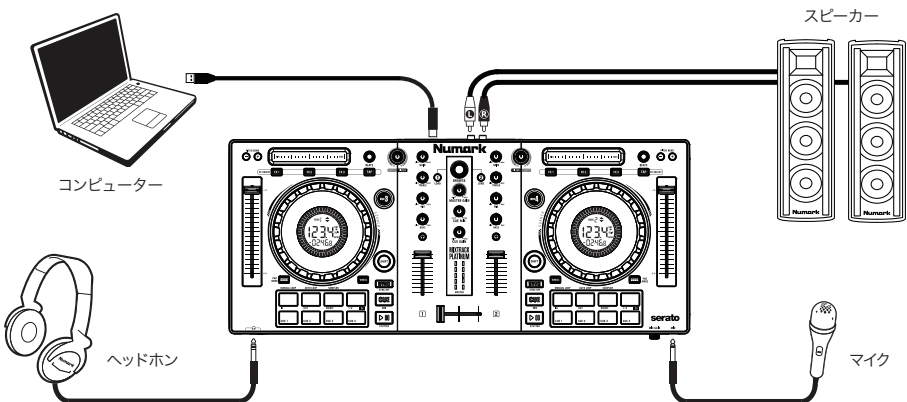
本製品の最新情報(システム要件、互換情報など)は、Numark のウェブサイト [numark.jp](http://numark.jp) にてご確認ください。  
また、修理などサポートに関するお問い合わせにつきましては、[numark.jp/support/](http://numark.jp/support/) でご確認ください。

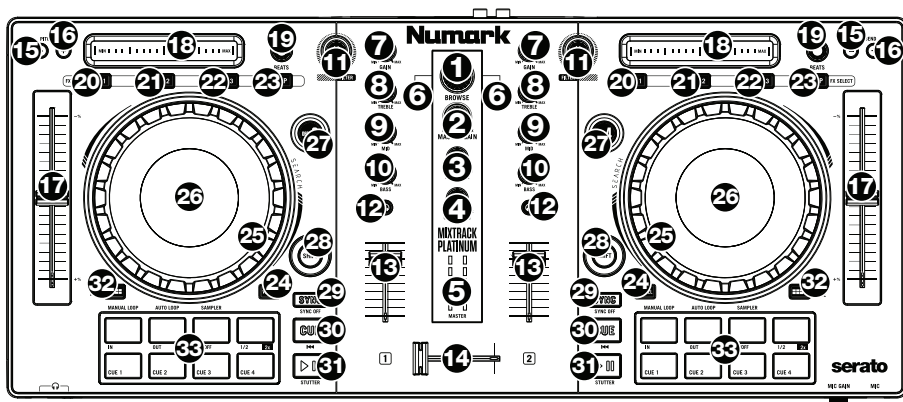
### セットアップ

1. Mixtrack Platinum を、平らで水平な面に設置してください。
2. すべての機器が、電源がオフで、フェーダーやボリュームが 0 になっていることを確認してください。
3. マイクを使用する場合は、Mixtrack Platinum のマイク入力端子に接続してください。
4. Mixtrack Platinum の出力端子を、外部のパワーアンプやサウンドシステムなどに接続します。
5. すべての機器の電源を接続し、付属の USB ケーブルで Mixtrack Platinum をご使用のコンピューターと接続します。
6. 以下の順序で電源をオンにします。
  - 1) コンピューター 2) アンプやスピーカー、その他のデバイス
7. Serato DJ Intro ソフトウェアをダウンロードし、お使いのコンピューターにインストールします。
8. Serato DJ Intro を起動して、音楽ファイルをデッキにロードします。
9. DJ プレイを始めましょう!
10. 電源をオフにする場合は、以下の順序で行います。
  - 1) アンプやスピーカー、その他のデバイス 2) コンピューター

### 接続例

同梱品リストにないものはすべて別売です。



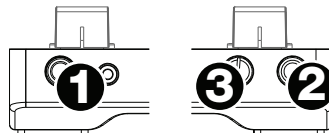


1. **BROWSER** : このノブを回してフォルダやトラックをブラウズします。ライブラリの一つ中の階層へ進む場合はノブを押します。
2. **MASTER GAIN** : ソフトウェアのマスターボリュームを調整します。  
注意 : このコントロールは Mixtrack Platinum に接続しているマイクのボリュームには影響しません。マイクのボリュームは **MIC GAIN** ノブで調整します。
3. **CUE MIX** : マスター・アウトプットとキュー・アウトプットのヘッドホンへの出力バランスを調整します。
4. **CUE GAIN** : ソフトウェアでヘッドホン・キューへ送っている音量を調整します。
5. **MASTER OUTPUT LED** : マスター・アウトプットのオーディオ・レベルを表示します。
6. **LOAD** : このボタンを押すと、それぞれソフトウェアの Deck 1 または Deck 2 へ選択したトラックがアサインされます。
7. **GAIN** : 各チャンネルの、チャンネルフェーダーと EQ に送られる前の信号レベルを調整します。
8. **TREBLE** : 各チャンネルの高域周波数帯域を調整します。
9. **MID** : 各チャンネルの中域周波数帯域を調整します。
10. **LOW** : 各チャンネルの低域周波数帯域を調整します。
11. **FILTER** : フィルターエフェクトを調整します。ノブを左に回すとローパスフィルターを、右に回すとハイパスフィルターをかけることができます。
12. **CUE/PFL** : このボタンを押すことで、ヘッドホンでのモニターリングの為にプリ・フェーダーの音声をキューチャンネルへ送ります。
13. **チャンネルフェーダー** : ソフトウェア上のそれぞれのチャンネルの音量を調整します。
14. **クロスフェーダー** : 2つのデッキのミックス・バランスを調整します。
15. **PITCH BEND Down** : 押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に下げます。
16. **PITCH BEND Up** : 押さえ続けることでトラックのスピードを一時的に上げます。

17. **ピッチフェーダー**：トラックの速さを調整します。「+」の方向に動かすと速くなり、「-」の方向に動かすと遅くなります。
18. **タッチストリップ**：アサインした FX の Dry/Wet の調整に使用します。**SHIFT + Touch Strip** でトラックサーチを行います。
19. **BEATS**：このノブで、エフェクトのビート数のレートを増減します。時間に基づいたエフェクトを使用している場合はタイムディビジョンを調整します。
20. **FX 1 On / Off**：FX1 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX1** でエフェクトを選択します。
21. **FX 2 On / Off**：FX2 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX2** でエフェクトを選択します。
22. **FX 3 On / Off**：FX3 のオン / オフを切り替えます。**SHIFT + FX3** でエフェクトを選択します。
23. **TAP**：このボタンを 4 回以上押すことでマニュアルで BPM が入力できます。トラックの元々のテンポが無視され、マニュアルで入力した BPM に追従します。
24. **WHEEL**：このボタンを有効にすることで、レコードのようにプлатターを使いオーディオ信号を掴んで動かす「スクラッチ」の動作が出来るようになります。**SHIFT + WHEEL** で、現在のトラックの経過時間および残り時間表示を切り替えます。
25. **プлатター / ジョグホイール**：この静電容量方式タッチ・センサーのジョグホイールに触れたり動かしたりすることで、オーディオ信号をコントロールします。WHEEL ボタンが無効の場合はピッチベンドとして使えます。WHEEL ボタンが有効の場合は、レコードのようにプлатターを使いオーディオ信号を掴んで動かす「スクラッチ」の動作が出来るようになります。また、タッチ・センシティブではないホイールの外側の部分を動かすことでピッチ調整も可能です。
26. **ディスプレイ**：現在のトラックの情報を表示します。詳しくは、**機能 > ディスプレイ**の項目を参照してください。
27. **LAYER**：このボタンを押して、コントロールするデッキを切り替えます。デッキ A は、デッキ 1 と 3、デッキ B は、デッキ 2 と 4 を切り替え可能です。
28. **SHIFT**：他のボタンと一緒に押すことで、そのボタンのその他の機能が働きます。
29. **SYNC**：デッキ同士の BPM を同期します。マニュアルで BPM を調整するために SYNC を解除したい場合は、**SHIFT + SYNC** を押します。
30. **CUE (トランスポート・コントロール)**：現在再生中のトラックのキューポイントの設定、呼び出しができます。**CUE** ボタンを押したままにすると、設定されたキューポイントから一時的に再生が開始されます。ボタンを押している間は再生され、手を放すと元のキューポイントの地点へ戻ります。**SHIFT + CUE** ボタンでトラックの頭からの再生へとリセットされます。
31. **PLAY / PAUSE**：デッキの再生または一時停止を行います。**SHIFT + PLAY / PAUSE** でトラックで最後に設定したキューポイントからスタック再生します。キューポイントが設定されていない場合は、再生地点はトラックの頭に戻ります。
32. **PAD MODE**：上段 4 つのパフォーマンスパッドの機能を変更するのに使用します。
33. **パフォーマンス・パッド**：上段の列のパッドはオートループをトリガーするのに使用します。下の段のパッドはキューポイント (Hot Cue) をトリガーするのに使用します。ロードしたトラックにまだキューポイントが設定されていない場合は、押した地点で新しくキューポイントがマークされます。キューポイントが既に設定されている場合は、設定したキューポイントへジャンプします。

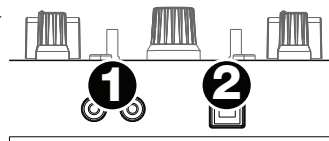
## トップパネル

1. **ヘッドホン出力**：信号をモニターリングするために 1/4" 標準ジャックまたは 1/8" (3.5mm) ステレオミニジャックのヘッドホンを接続します。ヘッドホンのボリュームは **CUE GAIN** ノブを使って調整します。
2. **MIC 入力**：1/4" 標準ジャックのダイナミックマイクを接続します。
3. **MIC GAIN**：マイク入力の音量を調整します。



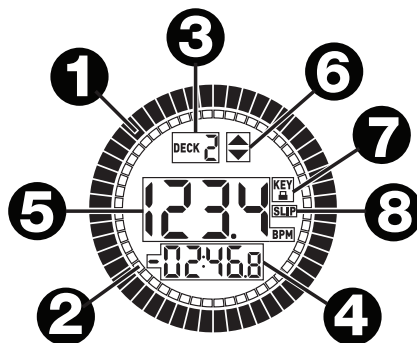
## リアパネル

1. **OUTPUT (RCA)**：マスター出力端子です。標準の RCA ケーブルを使用し、出力するスピーカーやアンプシステムと接続します。
2. **USB**：様々なパラメーターをコントロールするための USB MIDI データを送信します。



## ディスプレイ

1. **プлатター・ポジション**：現在のトラックの再生位置を表示します。
2. **タイム・バー**：現在のトラックの残り時間を視覚的に表示します。トラックが終わりに近づくとき、バーが点滅します。
3. **アクティブ・デッキ**：現在、アクティブになっているデッキナンバーを表示します。
4. **残り時間**：現在のトラックの経過時間、または残り時間を表示します。
5. **BPM**：選択されているトラックの現在の BPM を表示します。
6. **ピッチ・アジャスト**：ピッチフェーダーが+か-のどの方向に動いているかを表示します。
7. **KEYLOCK**：現在のデッキのキーロック機能がオンになっている場合に、このアイコンが表示されます。
8. **SLIP**：現在のデッキの SLIP モードがオンになっている場合に、このアイコンが表示されます。



## 操作

### パフォーマンス・パッド・モード

パッドの上段の列はモード（マニュアルループ・モード、オートループ・モード、サンプル・モード）により機能が変化します。モードを選択するには、PAD MODE ボタンを押しながら上段のパッドの一つを押さえます。LED が点灯しているパッドが現在選択されているモードを示します。

**マニュアルループ・モード：PAD MODE** ボタンを押しながら **MANUAL LOOP** と上に書かれているパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **Loop In** - ループの開始地点を設定します。Loop Out のポイントを設定したあとこのボタンをもう一度押すと、Loop In のポイントを微調整することができます。
- **Loop Out** - ループの終了地点を設定します。Loop Out のポイントを設定したあとこのボタンをもう一度押すと、Loop Out のポイントを微調整することができます。
- **On/Off** - ループ中にこのボタンを押すと、ループが無効になります。ループの外の地点で押すと、ループが有効になり Loop In のポイントから再生を開始します。ループが設定されていない場合は、押しても何も効果がありません。
- **Loop x1/2** - 現在再生中のループを半分にします。Shift + Loop x1/2 を押すと再生中のループの長さが 2 倍になります。

**オートループ・モード：PAD MODE** ボタンを押しながら **AUTO LOOP** のパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **Auto 1** - 1 拍のオートループをセットし再生します。Shift + Auto 1 を押すと、1/16 ビートのループロールがスタートします。
- **Auto 2** - 2 拍のオートループをセットし再生します。Shift + Auto 2 を押すと、1/8 ビートのループロールがスタートします。
- **Auto 4** - 4 拍のオートループをセットし再生します。Shift + Auto 4 を押すと、1/4 ビートのループロールがスタートします。
- **Auto 8** - 8 拍のオートループをセットし再生します。Shift + Auto 8 を押すと、1/2 ビートのループロールがスタートします。

**サンプル・モード：PAD MODE** ボタンを押しながら **SAMPLER** と上に書かれているパッドを押すと、上段の 4 つのパッドが次のような機能になります。

- **Sample 1** - Sample Pad 1 にアサインされたサンプルを再生します。Shift + Sample 1 を押すと、サンプル再生中の場合は再生を停止、またはスロットが空の場合にサンプルをロードします。
- **Sample 2** - Sample Pad 2 にアサインされたサンプルを再生します。Shift + Sample 2 を押すと、サンプル再生中の場合は再生を停止、またはスロットが空の場合にサンプルをロードします。
- **Sample 3** - Sample Pad 3 にアサインされたサンプルを再生します。Shift + Sample 3 を押すと、サンプル再生中の場合は再生を停止、またはスロットが空の場合にサンプルをロードします。
- **Sample 4** - Sample Pad 4 にアサインされたサンプルを再生します。Shift + Sample 4 を押すと、サンプル再生中の場合は再生を停止、またはスロットが空の場合にサンプルをロードします。

### デモモード

Mixtrack Platinum は、USB ケーブルでコンピューターと接続したまま、Serato DJ Intro ソフトウェアを起動せずに 30 秒ほど放置していると、自動的にデモモードに入ります。デモモードから抜けるには、Serato DJ Intro を起動します。

## 付録

### 技術仕様

**出力：** RCA ステレオ出力端子、1/4" ヘッドホン端子、1/8" ヘッドホン端子

**入力：** 1/4" マイク入力端子

**電源：** USB バスパワー

**サイズ：** 約 549 x 241 x 51 (W x D x H)

**重量：** 約 2.2kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

### 商標およびライセンス

Numark は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他の製品名や会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。



---

**numark.jp**